

講習の名称：前橋高崎地域をつくる大地の成り立ち

担当講師：早川 由紀夫（教育学部教授）

講習開講日：令和2年8月20日（木）

時間数：6時間

主な受講対象者：小教諭、理科または社会科（地歴）担当の中・高等学校教諭

キーワード：大地、地形、地質図、段丘、火山

講習の概要：関東平野の北西端に位置する前橋市と高崎市は利根川がつくった扇状地の上に形成された都市である。周囲を取り巻く3つの大きな火山（赤城山・榛名山・浅間山）の成長と崩壊とともに歩んだこの地域の成り立ちを調べる。

地図を携行しての荒牧キャンパス周辺散歩と弁当パックのフタを利用した立体模型制作を含む。

講習の展開：

- 1) 地質図の読み方
- 2) 浅間山の噴火史（塚原土石なだれ、鎌原熱泥流）
- 3) 西門を出て川原町から上毛大橋までの野外観察（1時間）
- 4) 赤城山の噴火史（土石なだれ、火砕流、土石流）
- 5) 榛名山の噴火史（河岸段丘、古墳時代の噴火）
- 6) 弁当パック立体模型の制作

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：なし

授業の形式： パワーポイントによる授業、模型制作実習、野外観察

履修認定試験：作成した立体模型の提示を含む口頭試問

テキスト（当日配布します）：

早川由紀夫、前橋高崎地域の自然史地図。キプカスピリット、2016年9月。